編集後記

26巻4号をお届け致します。原著論文5編、症例2編が掲載されています。原著2編は保健学部からの投稿です。保健学部新校舎は冬支度を終えた八王子の山々に囲まれて、日没とともに各研究室の灯りで一段と穏やかに、美しく浮かび上がっています。

本号は通巻第100号に当たります。改めて一冊一冊の積み重ねの重要さを感ずると共に、ここまでも継続・成長させてきた関係諸氏のご努力に心から敬意を表したいと思います。

若き会員諸氏の中には本誌を通してまとめ方のhow toを学ばれた方が多いのではないかと思います。これからも大いに本誌を利用し、研鑽され優れた論文を発表されることを期待いたします。

先日「写真展」なる会の写真展を拝見しました。会長は85歳。健康維持と技術向上を目的に集う人達の初めての作品展です。本学の元教授もメンバーに名を連ねています。当日は1枚1枚の作品について丁寧な説明を頂きました。その中で「余分な部分をできるだけ削り焦點を絞ること」が写真の構図を決める上で非常に重要であると教えられました。日よけの研究を論文にまとめる場合はどうでしょうか。焦點の絞られた論文は論旨が明瞭で分かり易く説得力があります。

通巻200号の発刊に向けて、会員諸氏による説得力のある論文や論文もこれまでに貴重な保健医療の調査成積等が本誌をさらに充実・発展させてくれることを願います。

（坂内久一）

編集委員
（長）渡辺言夫
塩原慎夫 須藤憲一 武正健一 花岡健夫
坂内久一 村川章一郎 吉野佳一 篠坂 萌
（編集事務）下村政光 聖原やしほ

杏林医学会雑誌第26巻第4号（会員無料配布）

平成7年12月31日 印刷
平成7年12月31日 発行

編集人 渡辺言夫

発行所 杏林医学会
東京都三鷹市新川6-20-2
杏林大学医学図書館内

振替口座 東京6-177033番

印刷所 一ツ橋印刷株式会社
東京都品川区上大崎3-12-15

NII-Electronic Library Service